

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式	
調査時点	令和7年12月1日発送 令和7年12月15日回答期限
調査対象	信用保証利用先3,000企業
有効回答数	376 企業(回答率 12.5%)

※ 当期: R07年10月～12月実績見込  
次期: R08年1月～3月期予測

### 【DI値について】

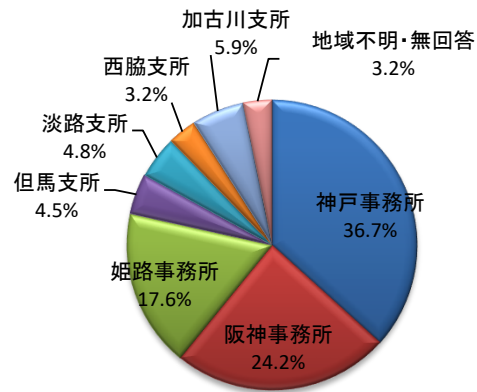
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

## I. 貴社の概要について

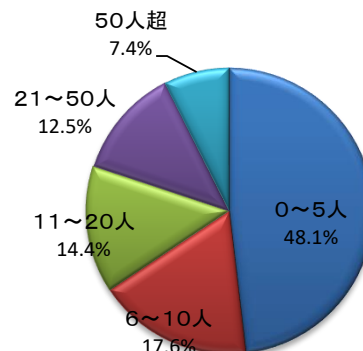
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	138	36.7%
阪神事務所	91	24.2%
姫路事務所	66	17.6%
但馬支所	17	4.5%
淡路支所	18	4.8%
西脇支所	12	3.2%
加古川支所	22	5.9%
地域不明・無回答	12	3.2%
合計	376	100.0%



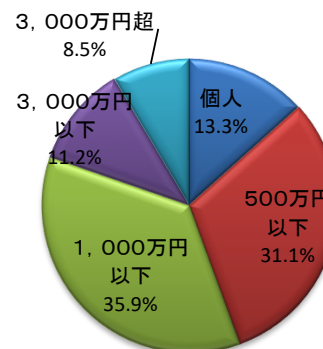
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	181	48.1%
6～10人	66	17.6%
11～20人	54	14.4%
21～50人	47	12.5%
50人超	28	7.4%
無回答	0	0.0%
合計	376	100.0%



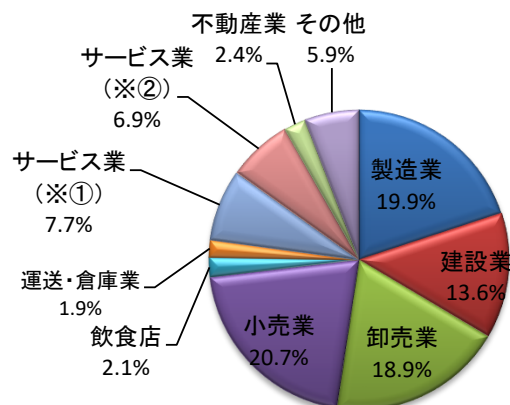
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	50	13.3%
500万円以下	117	31.1%
1,000万円以下	135	35.9%
3,000万円以下	42	11.2%
3,000万円超	32	8.5%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	75	19.9%
建設業	51	13.6%
卸売業	71	18.9%
小売業	78	20.7%
飲食店	8	2.1%
運送・倉庫業	7	1.9%
サービス業(※①)	29	7.7%
サービス業(※②)	26	6.9%
不動産業	9	2.4%
その他	22	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	376	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

## Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(25年10～12月期)は、前期(25年7～9月期)に比べどのような状況ですか。  
 (2) 次期(26年1～3月期)は、当期(25年10～12月期)に比べどう思いますか。

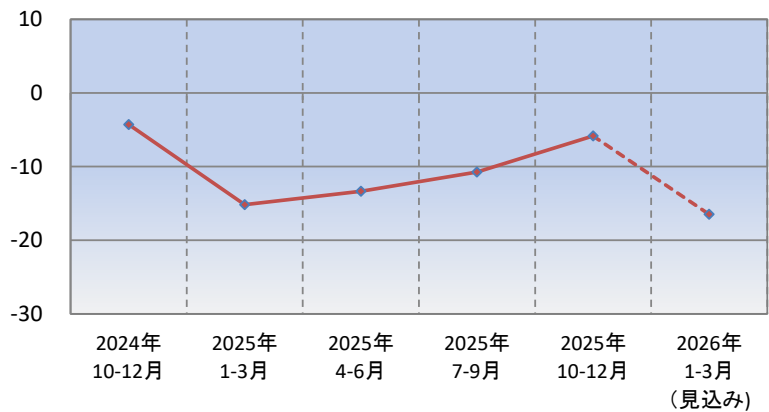
### 【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	107	28.5%
変わらない	140	37.2%
減少した	129	34.3%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	82	21.8%
変わらないと思う	150	39.9%
減少すると思う	144	38.3%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 16.5	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 10.7	▲ 5.9	▲ 16.5

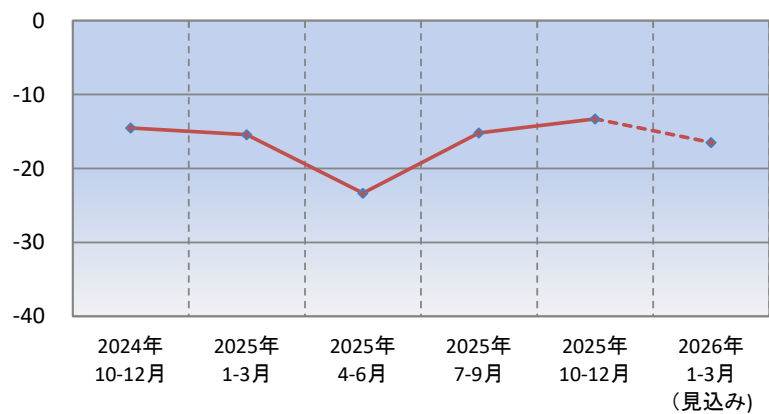
### 【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	63	16.8%
変わらない	200	53.2%
悪化した	113	30.1%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	58	15.4%
変わらないと思う	198	52.7%
悪化すると思う	120	31.9%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 23.8	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 23.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 16.5

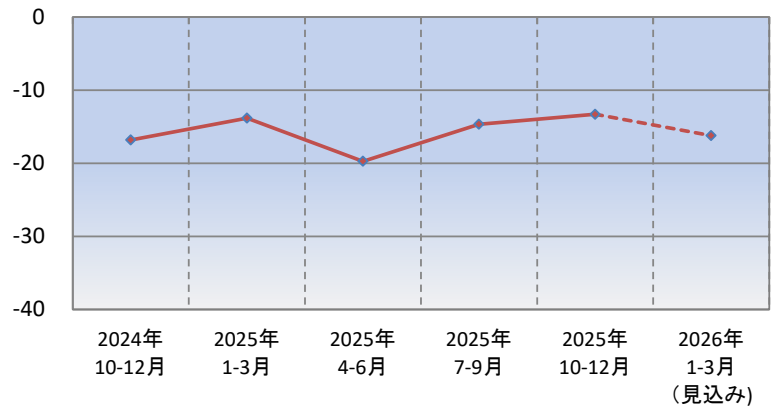
### 【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	47	12.5%
変わらない	232	61.7%
悪化した	97	25.8%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	35	9.3%
変わらないと思う	245	65.2%
悪化すると思う	96	25.5%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



### 資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月	2025年 4~6月	2025年 7~9月	2025年 10~12月	2026年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.5	▲ 17.7	▲ 16.8	▲ 13.8	▲ 19.7	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 16.2

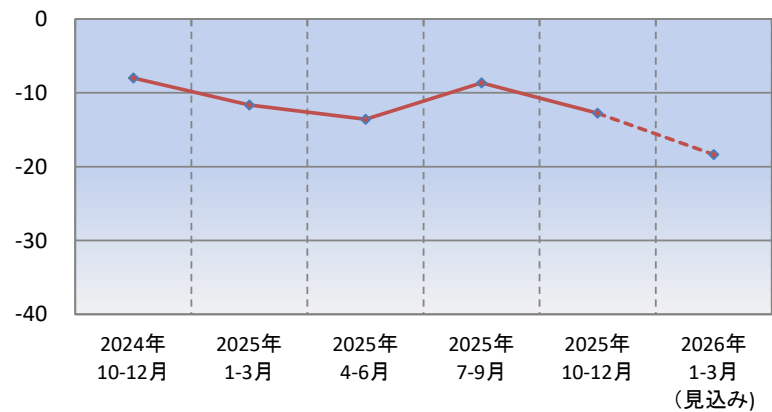
### 【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	23	6.1%
変わらない	282	75.0%
難しくなった	71	18.9%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	12	3.2%
変わらないと思う	283	75.3%
難しくなると思う	81	21.5%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



### 借入難易感DI(容易-難しい)

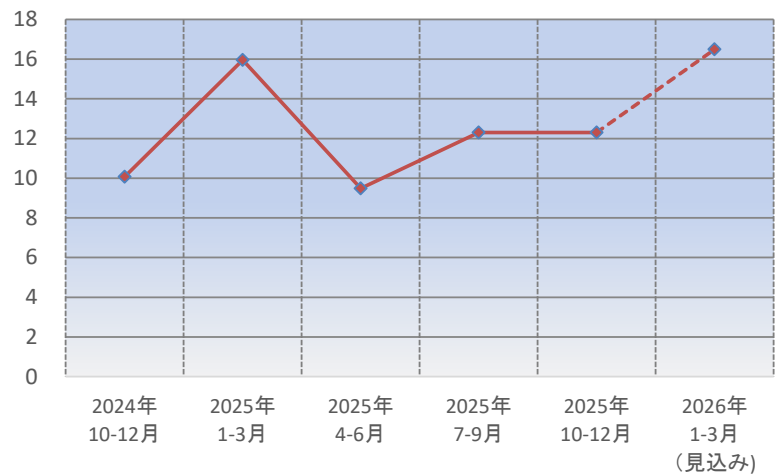
調査時期(実績)	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月	2025年 1~3月	2025年 4~6月	2025年 7~9月	2025年 10~12月	2026年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 10.8	▲ 8.0	▲ 11.7	▲ 13.6	▲ 8.6	▲ 12.8	▲ 18.4

当期(10-12月)のDI値は、前期(7-9月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」において改善し、「借入難易感」において悪化しました。  
次期(1-3月)のDI値は、当期(10-12月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全てにおいて悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	78	20.7%
変わらないと思う	282	75.0%
弱まると思う	16	4.3%
無回答	0	0.0%
総計	376	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2023年 7～9月 (10～12月)	2023年 10～12月 (1～3月)	2024年 1～3月 (4～6月)	2024年 4～6月 (7～9月)	2024年 7～9月 (10～12月)	2024年 10～12月 (1～3月)	2025年 1～3月 (4～6月)	2025年 4～6月 (7～9月)	2025年 7～9月 (10～12月)	2025年 10～12月 (1～3月)
兵庫県	16.3	15.6	11.1	16.0	10.1	16.0	9.5	12.3	12.3	16.5

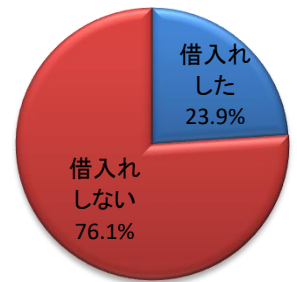
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

### Ⅲ.当期(25年10～12月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
※手形の割引は含めません

	25年10～12月期		25年7～9月期	25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	90	23.9%	28.0%	20.0%	24.9%	27.6%
借入れしない	286	76.1%	72.0%	80.0%	75.1%	72.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	376	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

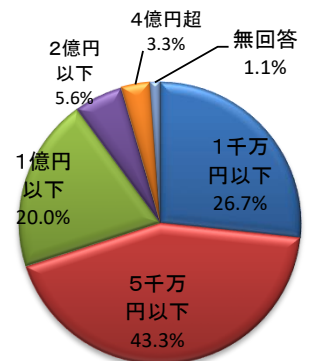
当期の借入れは、前回調査と比べ、4.1ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

	25年10～12月期		25年7～9月期	25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	24	26.7%	30.8%	34.6%	35.9%	37.1%
5千万円以下	39	43.3%	45.8%	47.4%	43.5%	48.5%
1億円以下	18	20.0%	14.0%	11.5%	15.2%	8.2%
2億円以下	5	5.6%	5.6%	2.6%	0.0%	4.1%
4億円以下	0	0.0%	1.9%	2.6%	2.2%	1.0%
4億円超	3	3.3%	1.9%	0.0%	2.2%	1.0%
無回答	1	1.1%	0.0%	1.3%	1.1%	0.0%
総計	90	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

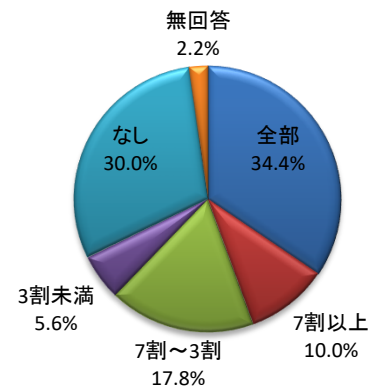
当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が4.1ポイント減少し、「1億円以下」が6.0ポイント増加しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

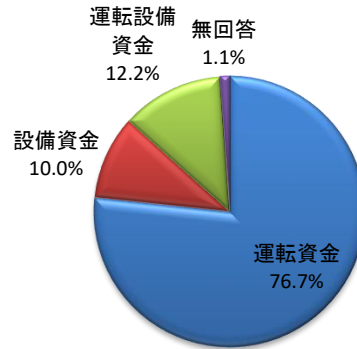
	25年10～12月期		25年7～9月期	25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	31	34.4%	29.0%	41.0%	34.8%	39.2%
7割以上	9	10.0%	5.6%	6.4%	9.8%	6.2%
7割～3割	16	17.8%	11.2%	10.3%	6.5%	9.3%
3割未満	5	5.6%	9.3%	3.8%	5.4%	3.1%
なし	27	30.0%	44.9%	37.2%	42.4%	42.3%
無回答	2	2.2%	0.0%	1.3%	1.1%	0.0%
総計	90	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が5.4ポイント増加しています。



当期借入金の目的は何ですか。

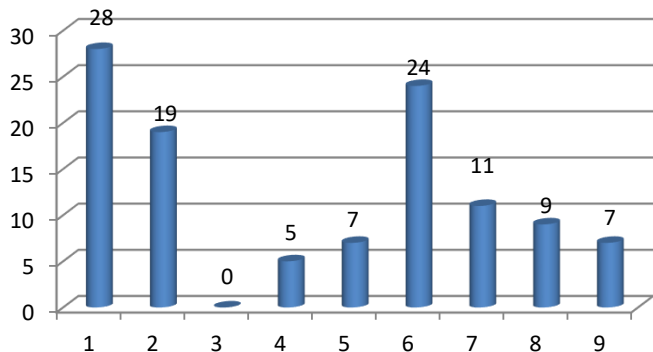
選択肢	回答数	構成比
運転資金	69	76.7%
設備資金	9	10.0%
運転設備資金	11	12.2%
無回答	1	1.1%
総計	90	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

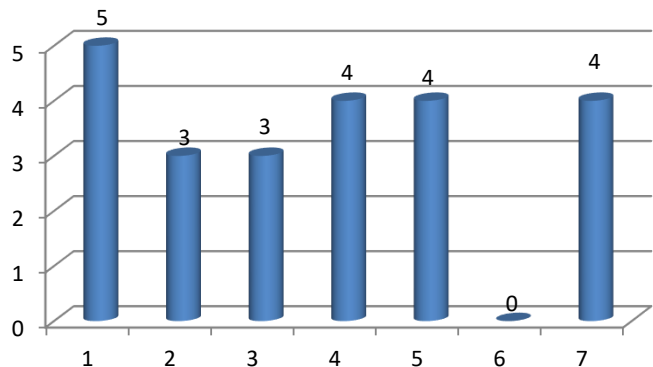
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	28
2 売上減少・赤字補填	19
3 過剰在庫対応	0
4 支払条件短縮対応	5
5 回収条件悪化対応	7
6 売上増加運転資金	24
7 在庫積み増し	11
8 季節運転資金	9
9 その他	7
総計	110



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

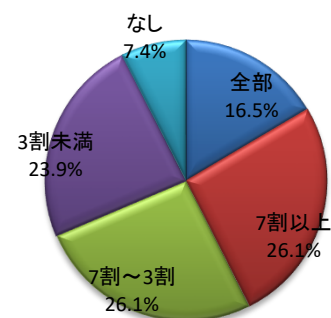
選択肢	回答数
1 新規事業	5
2 生産増強	3
3 合理化・効率化	3
4 設備老朽化に伴う入替	4
5 修理・修繕	4
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	4
総計	23



設備資金の種類は、「新規事業」が最も多く、次いで「設備老朽化に伴う入替」「修理・修繕」「その他」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(25年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

	25年10～12月期		25年7～9月期	25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	62	16.5%	17.0%	18.5%	20.3%	21.4%
7割以上	98	26.1%	17.5%	19.2%	19.2%	23.4%
7割～3割	98	26.1%	31.9%	29.0%	30.4%	29.9%
3割未満	90	23.9%	22.5%	25.1%	22.5%	16.0%
なし	28	7.4%	11.0%	8.2%	7.6%	9.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	376	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

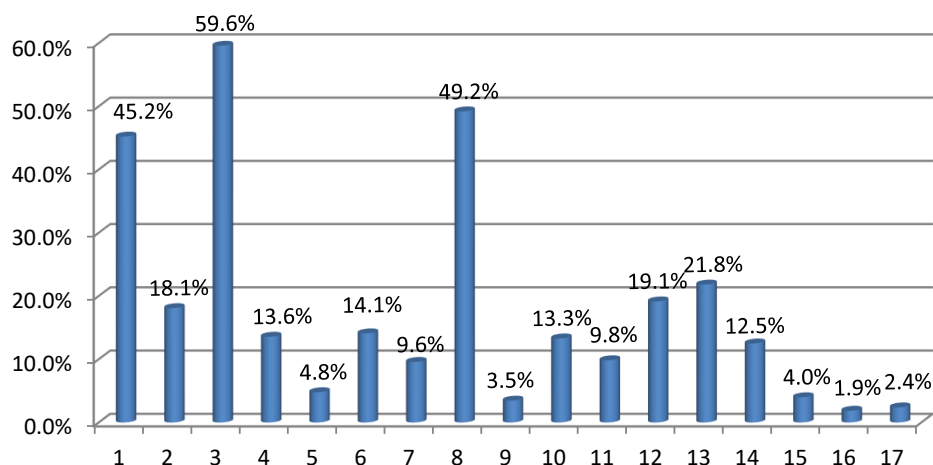


信用保証利用の割合は、「全部」「7割～3割」「なし」とする回答が減少し、「7割以上」「3割未満」とする回答が増加しました。



V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	170	45.2%	9 過剰在庫	13	3.5%
2 競争激化	68	18.1%	10 設備投資	50	13.3%
3 コスト高	224	59.6%	11 後継者難	37	9.8%
4 業界構造変化	51	13.6%	12 資金調達	72	19.1%
5 取引条件の悪化	18	4.8%	13 借入過多	82	21.8%
6 消費者ニーズの多様化	53	14.1%	14 為替	47	12.5%
7 技術・商品開発	36	9.6%	15 海外景気の減速	15	4.0%
8 人材・労働力の確保	185	49.2%	16 米国関税措置の影響	7	1.9%
			17 その他	9	2.4%



経営上の課題は、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「借入過多」「資金調達」「競争激化」の順となっています。